

いなさの風

No.13

令和6年 9月17日

〒852-8011 TEL095-861-2650

長崎市稲佐町11番1号

長崎市立稲佐小学校長

岡田 政宏



学校教育目標 たくましく未来を切り拓く子どもの育成 「なりたい自分になる」いなさっ子の学びの多様化に応える

子どもが選べる学びへの転換

「教わる」から「学びとる」へ

すべての子どもたちの可能性を引き出すことを目指し、個別最適な学びと協働的な学びを実現するための教育改革を進めています。GIGAスクール構想に代表される令和の時代にふさわしい教育環境を整え、子どもたちが学習意欲を高めながら主体的に学べるよう、教職員も研修を深めています。

9月5日、子どもたちの下校後に、学級担任等15名で、長崎大学教育学部附属小学校へと向かいまいりました。目的は、新たな授業スタイル参観と附属小の研究の一端を教示いただくため。この日は、稲佐小の職員のためだけに、附属小の校長先生をはじめ、研究の中心となっている先生に時間を割いていただきました。参観したのは6年生の算数の授業。学習に見通しを付け、自ら課題を選択しながら学習を調整していく内容をでした。(動画参照)これまでの多くの授業では、教師が学習のめあてから見通し、内容や方法をすべて指示し、全員一斉に、同じ順番で、同じ時間をかけて取

り組ませてきました。社会の在り方が劇的に変わる中、求められる力は、自ら豊かな人生を切り開く力。その力とは、知識の習得だけでなく、様々な考えや価値観をもつ他者と協力しながら、何をどんな方法・手順で学びとれば良いのか、自らの学びを調整できる力だと考えています。始めは、自分で考えられず戸惑う子どもいると思いますので、しっかりとフォローをしながら、授業主体の1:2割程度を子ども主体の授業に転換していきたいと考えています。授業参観後は、本校職員と附属小職員で、子どもに委ねる学びのあり方について、熱い協議を行いました。

本校職員研修
(附属小)

※ホームページ等では公開
しません。

災害は忘れたころにやってくる 共に大地震に備えよう

9月6日、地震を想定した避難訓練を実施しました。8月に宮崎県沖で比較的大きな地震があり、初めて南海トラフ地震臨時情報が出されました。現在は解除されたものの、いずれ必ずやってくる災害です。多くの子どもたちが犠牲になった関東大震災、そして近年の各地で起こっている大地震を教訓に、各家族でも今一度確認や話し合いをされてみてください。子どもたちの避難の様子や事後指導に使用した動画をご覧ください。

避難訓練の様



https://xgd/i0K92
学校で地震



https://xgd/FOXMC
家庭で地震



https://xgd/HuKip
屋外で地震



https://xgd/HuKip
夏休み作品展

※ホームページ等では公開
しません。

夏休み作品展動画公開

今月11日まで、夏休み子どもたちが作成した自由研究や各種作品を展示していましたが、ご覧になられましたか。お忙しい学校にお越しいただけなかった方に、雰囲気だけでもありますが、動画にまとめましたのでぜひご覧ください。プログラミングにチャレンジした子もいましたので、今後、サインージや通信でも紹介いたします。

先生

No.12



今回は、二年一組の担任を務める〇〇〇〇(〇〇〇〇)先生です。子どもたちに見たテレビドラマに影響を受け教師を目指したのだそうです。私と年齢も近いので、もしかしらうと思ひ番組名を確認するとやっぱり「熱中時代」。俳優の水谷豊さん演じる北野大先生が小学校を舞台に子どもたちと日々のドラマを繰り広げる視聴率40%越えの人気番組でした。私も影響を受けた一人です。しかし、〇〇さん

の視聴ポイントは、少し違って「先生って自由な髪型・服装でいいなあ。」だったそうです。好きなことは朝ドラ視聴や長崎ヴェルカのスポーツ観戦。今日も北野大先生のように(知らない方は「めんなさい」明るく元気な〇〇さん、いなさっ子たちへのメッセージは、「稲佐小 最高!」だそうです。

早寝早起き朝ごはん

〇〇先生

かに座

ケセラセラ

被爆から79年目となった長崎市の平和式典。イスラエル不招待が世界的な議論の的となっています。市役所へも千件を超える問合せが続いているそうです。イスラエル・パレスチナの東情勢については、今に始まった問題ではなく、二千年という長きに渡り、さまざまな要素で争いが続いており、なかなか難しい問題だと思えます。昨年、また争いが始まり、多くの民間人が命を落としているニュースが連日報道されています。難しいことは分かっていたのですが、8月9日に本校で行った平和集会で、このことに触れて話をしました。「イスラエルやガザ地区とは、どこにあるのか。」「イスラエルは、長崎への原爆投下より後に建国されたこと。」「長年争いを続けてきた地域であること。」「国際的にとどのような争いごとのルールがあるのか。」「今回の不招待にも「賛成」「反対」の両意見があることから、事実のみを伝え、あえてどちらが正しいという私の考えは伝えませんでした。その他、ウクライナと戦争をしているロシア、そして北朝鮮などもニュースでよく出てきますが、世界地図で見ると日本のお隣さんであることも伝えました。お茶の間でもぜひ話題にして、子どもに考えさせてください。

